別紙様式第３－１号（細則第３条第４項関係）

施設園芸用燃料価格差補塡金積立金一部返還通知

令和　　年　　月　　日

（加入者組織代表者）殿

（鹿児島県燃油価格高騰緊急対策協議会）

住　　　　　　　　　　　　所

名称及び代表者の氏名

令和○年○月○日付け施設園芸用燃料価格差補填金積立契約締結完了通知により令和〇〇事業年度燃料価格補填金積立金額、前年度積立金残高及び令和　　事業年度納付必要額を通知したところですが、前事業年度積立金残高の一部（全部）について令和　　事業年度燃料補填金積立金額を上回っていることから、前事業年度積立金残高のうち　　事業年度燃料補填金積立額との差額○○○○円について、別途返還することとしたので通知します。

記

* 契約管理番号
* 契約期間　（自）令和　年　月　日　　（至）令和　年　月　日
* 前事業年度燃料補填積立金残高　　　　　　　　　　円
* 事業年度補填金積立金を上回ったことによる返還額　　　　　　　　　　円（※）
* 燃料補填積立金残高（返還後）　　　　　　　　　　円

（※）本通知により積立金残高の一部を返還するする構成員内訳

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 番号 |  | 住　　　　所 | 返還額（円） |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 返還額　　　合　計 |  |

（注）１．番号は、参加構成員ごとの整理番号とする。

２．積立金の増額をする参加構成員がいる場合には、表の返還額合計欄の額は、上記「事業年度補填金積立額を上回ったことによる返還額」の額とは一致しないので注意が必要。

積立金一部返還後の契約対象の燃料補填積立額の内訳は別紙のとおり

（別紙様式第３－１号に添付）

別紙

一部返還後の燃料補填積立金残高の内訳

１　組織名　○○○○、　契約管理番号

２　参加構成員数　　　名

３　参加構成員ごとの内訳（令和○年○月○日現在）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 氏　名 | 住　所 | 選択肢･115％･130％･150％･170％ | 燃料別･Ａ重油･灯油・ＬＰガス・ＬＮＧ | 前事業年度燃料補填積立金残高（円）（Ａ） | 令和〇〇事業年度燃料補填金積立金額　　（Ｂ） | 返還金(Ａ)－(Ｂ) |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 合　　計 | 115％ | Ａ重油 |  |  |  |
| 灯油 |  |  |  |
| ＬＰガス |  |  |  |
| ＬＮＧ |  |  |  |
| 130％ | Ａ重油 |  |  |  |
| 灯油 |  |  |  |
| ＬＰガス |  |  |  |
| ＬＮＧ |  |  |  |
| 150％ | Ａ重油 |  |  |  |
| 灯油 |  |  |  |
| ＬＰガス |  |  |  |
| ＬＮＧ |  |  |  |
| 170％ | Ａ重油 |  |  |  |
| 灯油 |  |  |  |
| ＬＰガス |  |  |  |
| ＬＮＧ |  |  |  |

（注）１．番号は、参加構成員ごとの整理番号とする。

　　　２．積立金の一部返還前の参加構成員全員を記載し、「前事業年度燃料補填積立金残高」（Ａ）欄の合計額は、別紙様式第３－１号の「前事業年度燃料補填積立金残高」の額と一致し、「令和〇〇事業年度燃料補填金積立金額」（Ｂ）欄の合計額は、別紙様式第３－１号の「燃料補填積立金残高（返還後）」の額と一致する。

３．　一部返還する参加構成員の返還額合計は別紙様式第３－１号の返還額と一致する。

４．参加構成員が積立金を増額した場合には、「返還金」（Ａ）－（Ｂ）欄に「△」で表示する。

５．「返還金」の合計額は、別紙様式３－１号の「事業年度補填金積立金を上回ったことによる返還額」の額と一致する。